

北海道浮魚ニュース

平成11(1999)年度5号 (通巻 No.51)

1999年7月6日

北海道立中央水産試験場	Tel : 0135-23-8707	Fax : 0135-23-8709
釧路水産試験場	Tel : 0154-23-6221	Fax : 0154-23-6225
函館水産試験場	Tel : 0138-57-5998	Fax : 0138-57-5991
稚内水産試験場	Tel : 0162-32-7177	Fax : 0162-32-7171
網走水産試験場	Tel : 0152-43-4591	Fax : 0152-43-4593

道東太平洋マサバ・マイワシ漁期前調査結果

北辰丸(釧路水産試験場調査船)によって行われたマサバ・マイワシ漁期前調査の結果をお知らせします。

調査期間：1999年6月23日～30日

調査海域および調査点：道東～三陸沖太平洋(北緯40度10分～41度50分、東経142度30分～144度40分)における5調査点(図1)

調査方法：9種類の目合(22mm～82mm)の流し網を用いた漁獲試験

漁獲試験を行った5調査点の表面水温は14.8～19.4で、前年(14.1～19.8)の範囲内にあり、平均ではわずかに高めでした。

漁獲試験の結果は図1のとおりで、流し網調査1回当たりの漁獲尾数(CPU E)の経年変化は図2のとおりです。

サバは、2調査点で5～6尾、合計11尾漁獲されました。CPU Eは2.2尾/回で、前年の19.0尾/回を下回り、近年の中では低い水準でした。魚体は尾叉長15～20cm前後が主体で、29cmのものも1尾見られました。

マイワシは、4調査点で1～189尾、合計376尾漁獲されました。CPU Eは75.2尾/回で、前年の29.5尾/回を上回り、近年の中では比較的高い水準でした。魚体は体長15cm前後が主体で、20cm前後のものも見られました。

カタクチイワシは、全調査点で2～10,473尾、合計18,413尾漁獲されました。CPU Eは3,682.6尾/回で、前年の2,495.6尾/回を上回り、近年の中では非常に高い水準でした。魚体は体長12cm前後が主体でした。

サンマは、3調査点で2～3尾、合計7尾漁獲されました。CPU Eは1.4尾/回で、前年の12.5尾/回を下回り、近年の中では低い水準でした。

スルメイカは、全調査点で1～8尾、合計20尾漁獲されました。CPU Eは4.0尾/回で、前年の2.3尾/回を上回りましたが、近年の中では低い水準でした。

アカイカは、4調査点で1～51尾、合計57尾漁獲されました。CPU Eは11.4尾/回で前年の2.5尾/回を上回りましたが、近年の中ではやや低い水準でした。

来る7月14～15日に、中央水産研究所(横浜市)で長期漁海況予報会議が開催され、今回の調査結果を含めた各機関の資料を基に、漁況予報が発表される予定です。

(文責：釧路水試資源管理部)

直通電話0154-23-6222)

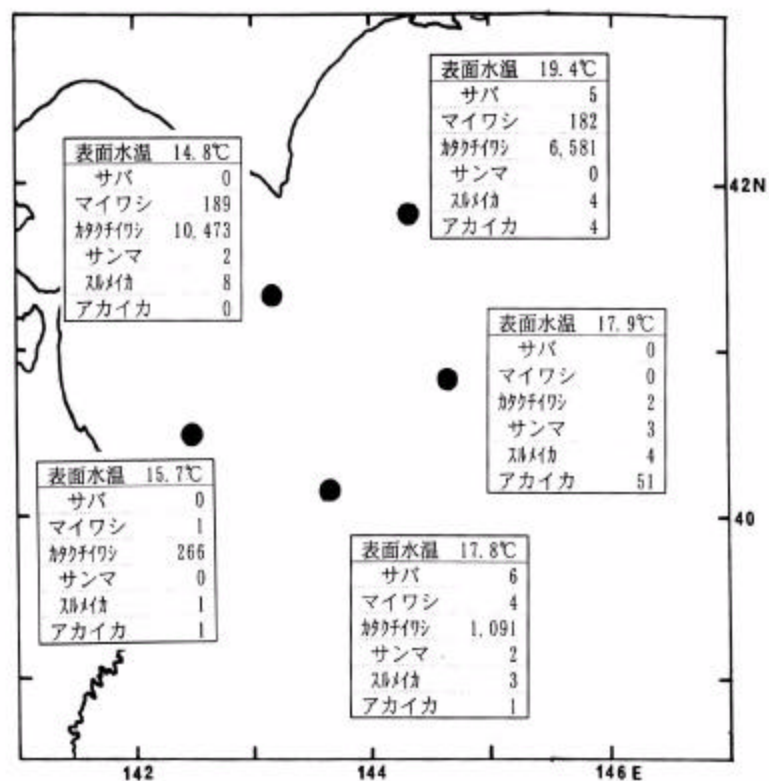


図1 漁獲試験調査点と表面水温および魚種別採集尾数

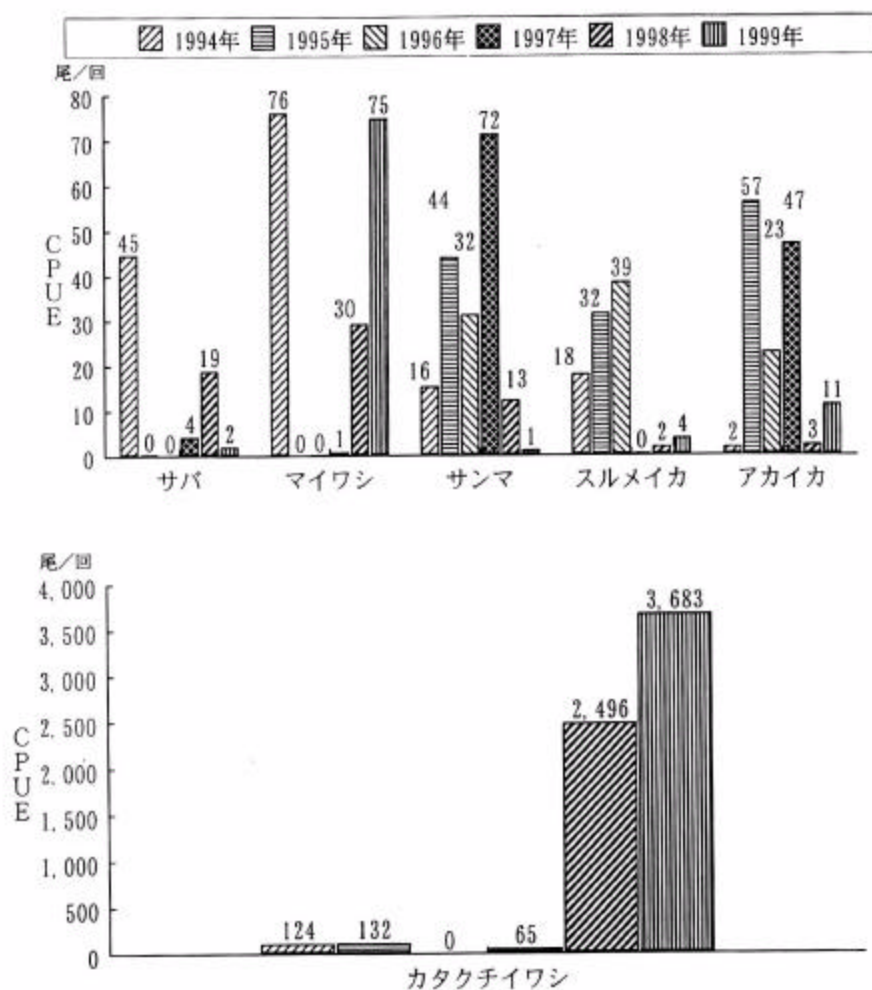


図2 漁期前調査における魚種別CPUEの経年変化